

# ちよつといし話

## ～ 控の美学 ～

第一人称から第二人称に気持ちを切り替える事によって見違えるほど世界観が変わる物である。和合させる秘策と言っても過言ではないでしょう。何事も決める前に、あなた（お前）如何ですかの一言が大事です。私が（俺が）～をするのでは無く、家族ないし第三者に相談をしてから物事を進める。どれほど効果をもたらすかは事と次第しだいによります。自分が主導で物事を進めていくも順風の時ばかりでは決してありません。事が大きければ大きいほど回りの意見を取り入れて進みたいものです。進むべき道が正しいのか正しくないのか自身の事は分かりにくいものです。

佛様曰く我々凡夫は妄念、邪見起きやすく、自己の確立が難しいと、邪見とは因縁因果等の佛様の教法を信じる事が出来ずに誤った見識のもとに行動してしまう事。妄念とは妄想を抱かせる迷いの心で、やがてその心が肉体を支配してしまう事です。競技に於ける勝負は別として、世の中は勝ち負けではなく「泣き笑いの人生にしたい」。勝ち負けばかりに拘り畜生道に墮ちる事は避けたいものです。

やがて還暦も過ぎれば第一線を離れ、仏法に従って命終を何時迎えても良い様に精進したいものです。念仏には三縁あり。三縁とは身・口・意の三業が念仏行ねんぶつぎょうで成就出来る三つの縁、即ち、親縁・近縁・増上縁の事を言います。要するに念仏行によって罪咎とがが消え、阿弥陀様と親しくなれ、入寂には極楽往生させて戴けると言う事です。琅琅ろうろう

善入院油掛地藏尊